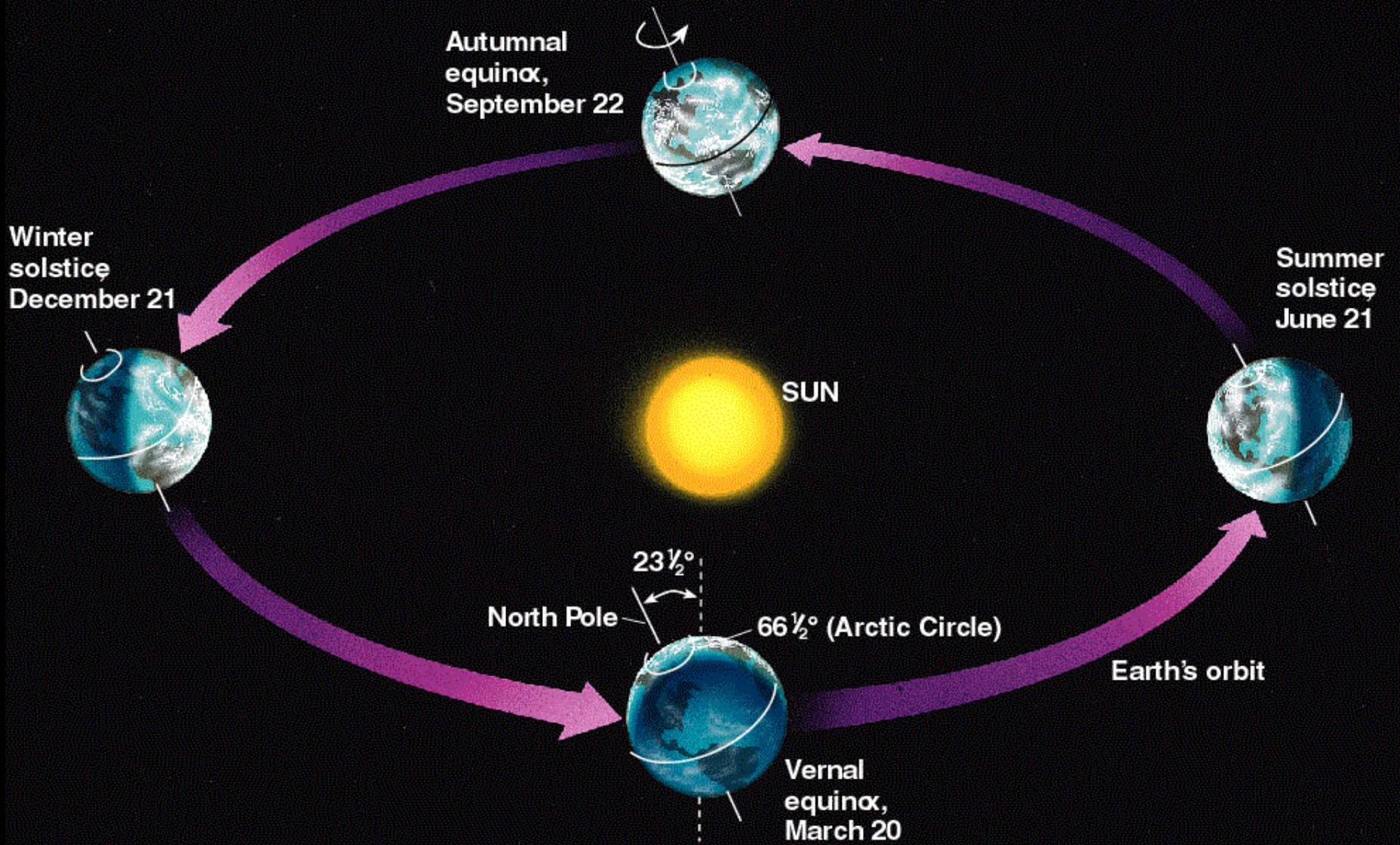
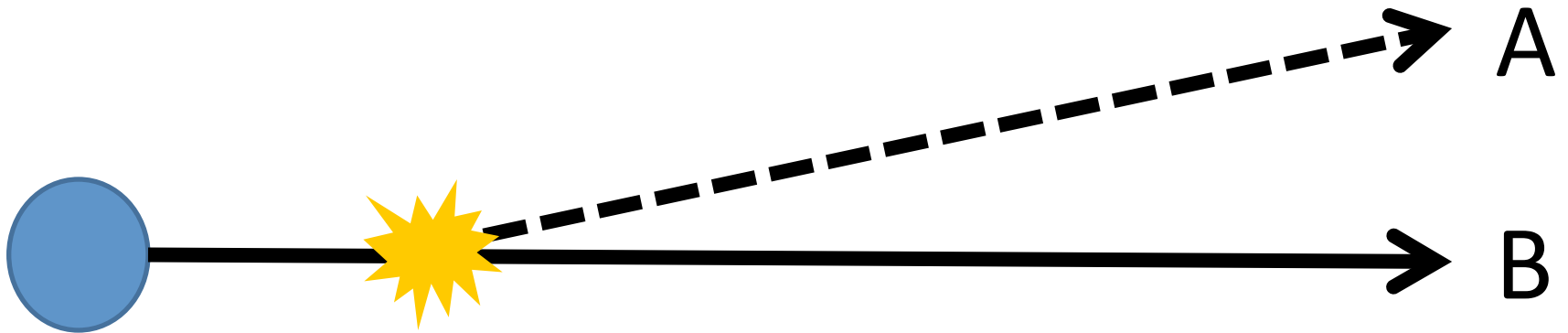


変革のススメ



変える、変わる、変えられる



あたり前だったこと(変わったこと)

- 小作人の子どもは小作人。
- 「黒人」は「白人」と同じ権利をもたない。
- 「呆け老人」は家の奥に閉じ込めておく。
- 女性は選挙に参加できない。
- 車いすの人は地下鉄を利用できない。

まだ変わってないこと

- 人が人を殺し合うこと(戦争)。
- いじめ。
- 「外国人」は平等の権利をもたない。
- 「競争社会」。
- 「貧困」は自己責任。
- Etc.

マーガレット・ミード (文化人類学者)



“Never doubt that a small group of thoughtful, committed, citizens can change the world. Indeed, it is the only thing that ever has.”

「良識と強い意志をもつわずかな人間の集まりが世界を変えうるということを疑ってはいけません。実際、世界を変えてきたのはそういう人たちだけなのですから。」

精神的な暴力

社会問題を解決することはできるか

- 自分たちが何をしていても社会(世の中)変わらない
- さらなる絶望感・無力感

誰のせいで社会問題は起こるのか

- 総理大臣？アメリカ大統領？国連事務総長？
- 誰のせいでもない＝一人ひとりの責任

「自己の変革」と「社会の変革」

エンパワーメントの2つの側面

- 「意識化」をとおして、**個人の内側に存在する**パワーlessness—自己非難、自己否定感、無力感、自信喪失—を回復するという内的な変化
- パワーlessnessを**社会的、政治的な構造の中**に見出し、環境の変化や資源へのアクセスを改善するといった外的な変化

出典：久保美紀「エンパワーメント」『ソーシャルワーク理論を学ぶ人のために』世界思想社 P117-118

行動をとるということ

“Learning by doing”

アメリカの教育学者ジョン・デューイが述べた言葉。

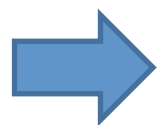
出典：岡本榮一「ボランティア＝自ら選択するもう一つの生き方」『学生のためのボランティア論』大阪ボランティア協会 P8

プラグマティズム

実用主義、道具主義、実際主義。

経験不可能な事柄の真理を考えることはできない。

物事の真理を実際の経験の結果により判断し、効果のあるものは真理であるとする。



社会福祉に「失敗」はつきもの

社会福祉における評価

